

## ノートテイクとは

ノートテイクとは、聴覚に障害のある学生に対し、パソコンや、筆記その他の手法を用いて講義等の情報を保障する支援活動です。

北翔大学では、聴覚障害学生に対し、支援学生（テイカー）が自らの空き講時間を利用し、パソコン及び筆記により講義内容等をサポートする支援活動(有償ボランティア)を行っています。

### ・パソコンテイク

→PCを使用することでより多くの情報を伝えることができる支援。  
ただし講義形態により、不向きな場合もあります。

### ・ノートテイク（筆記）

→伝えられる情報量はパソコンより劣るが、ほとんどの座学講義において対応可能。



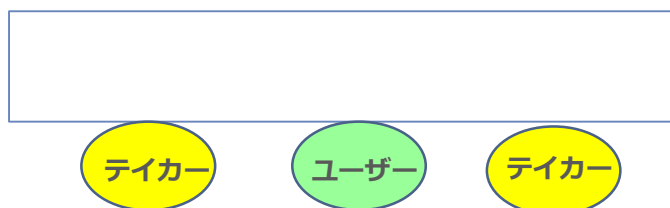
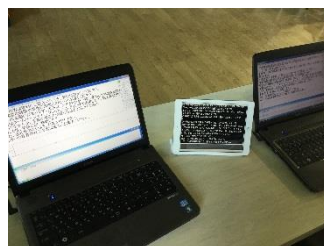
## 北翔大学ノートテイク

北翔大学では、学生ボランティアのみなさんが自主的に支援活動をしています。また、特別サポートルームが支援活動のお手伝いをしています。

## ノートテイクってどうやるの？

### ○パソコンテイク

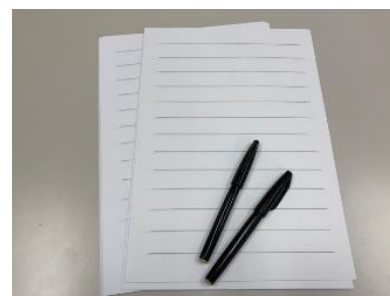
二人一組になり、先生が話す言葉や教室の中で聞こえる音（チャイムなど）を画面に入力します。ユーザーはその画面を見ることで講義内容やその場の雰囲気を理解します



### ○ノートテイク

二人一組になり、先生が話す言葉や教室の中で聞こえる音（チャイムなど）を交代しながら紙に書きます（10～15分ごとに交代）。

また、自分が書いていないときは補助をします。



## 利用のながれ

### 依頼者（ユーザー）

- ①特別サポートルームで相談  
・講義が決まったらテイクについて相談しましょう  
(※必ずしも全ての講義にテイカーが配置されとは限りません)
- ②依頼者（ユーザー）からのテイク依頼を受けテイカーを配置



## テイク開始

- ④テイカーデビュー  
・まずは代理テイクから。経験を積みましょう
- ③模擬テイク  
・実際の授業に参加し、テイクをします。
- ②講習会で勉強  
・テイカーとしてのマナーやルール、実技などを学びます
- ①テイカー募集に応募

### 支援者（テイカー）